

一般質問

加藤議員

長尾山総合公園再整備事業について

Q 質問
県では「恐竜」を福井県のトップブランドと位置づけ、県立恐竜博物館の入場者数も100万人との目標も設定されている。そこで勝山市では、長尾山総合公園を6億円かけて駐車場やトイレなど再整備する計画となっている。

A 答弁
昨年8月4日、県に対する最重要要望項目の中で、長尾山総合公園の再整備にかかる財政支援について、市長が直接知事に対し、強く申し入れている。さらに、勝山市議会からは本年3月18日に知事、県議会議長に対し要望を行って頂いた。

なお、事務レベルでも折衝を重ね、勝山市に対する財政支援について今も協議を継続しているところだが、現状では、勝山市自主財源確保について具体的な支援策は決定していないため、今後も強く要請・協議していく。また、福井県観光新戦略を実現する県の新たな



長尾山総合公園

その他の質問
医療保険制度改定について
安全保障法制化について

就学援助制度改善について

Q 質問
就学援助制度には、入学準備金が組み込まれているのに、実際の支給は1学期の終わりのころというのが実態。

A 答弁
①「入学準備金貸付制度」を創設してはどうか。
②国に準じて、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を援助の項目に加えてはどうか。

施策などを活用し、勝山市の財政面での軽減が図られるよう努めていく。

①勝山市社会福祉協議会では、「小口資金貸付事業」という3万円までの無利子貸付制度があり、現時点ではその活用をお願ひし、入学説明会時に保護者への周知を図り、利用状況が増えた時点で市での対応も検討したい。なお、準要保護児童に対し、新入学用品費として小中学校入学時に給付しているが、市民税確定後に確認作業に入るため、支給は1学期の終わりがごろになっている。この作業を確定申告状況などで行い、入学前に支給できないかについても検討していく。

②就学援助制度は、国庫補助基準に準拠して行っているが、勝山市ではクラブ活動費、生徒会費、PTA会費は給付項目としていない。他自治体においても実施しているところは少ない状況にあり、さらに今後の検討課題としていきたい。

丸山議員

大蓮寺川改修事業の今後の展望について

Q 質問
勝山市並びに市議会も福井県に対する最重要望事業として大蓮寺川の早期の改修事業についてお願ひをされている。また、有志の議員で上京した折にも国会議員に対して陳情を行っているが、元禄線や立石線下の工事については未だ着手されていない。今後の工事の展望について市長の見解を伺う。

A 答弁
昨年度には、元禄線地下放水路の流末となる、弁天緑地内の堤外水路の一部も着手され、今年度も引き続き施工されるものと考えている。今後、元禄線、立石線の地下放水路も含めた全ての工事の完成については、平成36年度を目標に進めていくとのことだが、勝山市としては、市民の皆様との生命と財産を守るための最重要事業に位置付け、毎年知事への最重要要望として強くお願ひしている。現川改修の平成28年度竣工および一年でも早い全工事の竣工に向け、県に対して本年も引き続き最重要事項に上げ、強く要望していく。

元市民活動センター跡地の整備計画について

Q 質問
跡地利用については、本町商店街の理事さん方を始め下

その他の質問
最近の火災件数の増加に伴う傾向と対策について
生活保護の実態について
ゴミの不法投棄の現状と対策について
袋田区や下後区の区長並びに区民の方達からもいろいろな意見が出されている。その活用方法に加えたのが毘沙門境内にある金燈籠。金燈籠の活用を含めて元市民活動センター跡地の整備計画について伺う。

A 答弁
元市民活動センター跡地は、解体後アスファルト舗装を行い、平常時にはまちなか駐車場、左義長まつりや年の市の際には、各種出店や来客者の休憩スペースとして活用してきた。広場整備については、利用される地元区や商店街の意見を反映させることが重要であると捉え、これまでに二度意見交換会を開催した。その中で、毘沙門にある金燈籠を、昭和10年頃まであったとされる、本町通り近辺に再設置をし、ランドマーク的存在にしたいとのかとのご意見を頂いている。

今後、計画の素案ができた段階で、市民で構成されるまちなか整備推進会議でご意見を頂き、市民協働のまちづくりを進めていく。また、金燈籠は市の有形文化財に指定されていることから、庁内関係課と協議を重ねるとともに、文化財保護審議会にも御意見を賜り、より良い形で保存・利活用を検討していく。



毘沙門の金燈籠